

長野市おひざで絵本事業 絵本選定委員会 会議要旨

- 【日 時】 令和6年8月26日（月） 午後3時から午後5時まで
- 【場 所】 市役所第一庁舎4階 教育委員会室
- 【出席者】 委 員 伊藤直子委員 中野明子委員 西澤広美委員 萩原元子委員
藤沢陽子委員 若狭知子委員 渡邊望委員
事務局 前島卓教育次長
藤原慶治家庭・地域学びの課長
古平京子家庭・地域学びの課長補佐
石坂三由里家庭・地域学びの課係長
徳武朋香家庭・地域学びの課主事
佐藤文香長野図書館司書
芹沢広美南部図書館司書
林由佳七二会保育園長

【主な内容】

協議事項

(1) おひざで絵本事業について

～事務局より説明～

- (委 員) 健康教室での読み聞かせの代わりに、市立図書館でのお話会を案内しているという話について、私も市立図書館でボランティア（読み聞かせ）をしている。南部図書館では赤ちゃん向けのお話会をやっているという話だが、長野図書館では、赤ちゃん向けのおはなし会にはなっていないような気がする。
- (事 務 局) 南部図書館の現状として、赤ちゃん向けのお話会でもおひざで絵本事業の絵本を読んでいるわけではないので代替にはなっていない。読み聞かせの対象年齢が低くなる可能性があることをボランティアにもお伝えしている。この件については、長野図書館とも話しを共有していく。
- (委 員) 事前に配付絵本の5冊から選ぶことを周知するアナウンスはあるのか、保護者の方はネットで検索するため、配付絵本5冊のタイトルが分かれば自分で調べて当日に臨めると思う。
- (事 務 局) 事前配布の赤ちゃんのしおりに絵本の引換券をとじてあり、長野市のホームページなどにもブックスタートページに絵本一覧を掲載しているので何も知らずに来ることはないはずである。

当日は、見本を机に並べてご案内しているため表紙だけで選ぶ方が多い、

絵本を開くなど中身をみて選べるよう保健センターとも話し合い対策を取っていきたい。

(委 員) 絵本の配付実績の中で 100%いかないのは当日具合が悪くて来れない方もいると伺ったが、去年より配付率が下がってしまったのは残念に感じる。渡せなかった方には次の案内はしているのか。

(事 務 局) 渡せなかった方は、お子さんまたは保護者に行政の援助が必要な場合、保健センターが関わっていることが多い。そのような場合、保健師から個別に絵本受け取りについての案内や、場合によっては家庭訪問の際に絵本を持っていくなど対応している。

(委 員) 絵本の読み聞かせについて、前任校の地域では大学の枠を超えて子育て支援のボランティアへ学生も参加していた。長野市内の大学(幼児教育学科)に呼びかけ、7～8カ月児健康教室すべての参加は難しいが、可能な限りで、学生ボランティアが、読み聞かせに参加するという事は、産学官連携において、若いお母様方にとっても学生が子育て支援していく姿を見て、好評を得ている。今すぐには難しいかもしれないが、可能であれば、実践いただきたいという希望がある。

(委 員 長) 長野県立大学では大学の広場に集まって学生が読み聞かせをするなど、実践している。4年制で比較的時間にゆとりがあるため、呼ばれていくこともできると思うが、短大となると、カリキュラムが詰まっており、長期休みは実習だったりするため、時間があるのか心配である。うまく調整しながら、せっかくの機会なので繋がっていったらと思う。

(2) 絵本の選定について

～事務局より説明～

(意見・質問なし)

『入れ替える絵本について』

(委 員) 「いないいないばあ」が去年度少なくなったが理由はなぜか

(委 員) 「いないいないばあ」はベストセラーで長く読まれてきた絵本であるが、現場の若い先生と話した際、怖いという子供がいるという話を聞いたことがある。また、出産祝いなどでいただいている人も多いようである。

(委 員) 「いないいないばあ」を題材にした絵本は結構あるが、この絵本の良い点は非常に簡潔で、月齢の小さいお子さんにとっても良いように感じる。確か

に昨今のカラフルな絵本に比べてどうなのかと思うところはある。

- (委 員) 価格というのは関係ないか。700 円という価格のため、より高いものを選ぶ方もいるのではないか。
- (委 員) 「もうおきるかな」を入れ替えの絵本に 2 名上げているので、「いないいないばあ」を残し「もうおきるかな」を外すのも良いと思った。
- (委 員) 昨年「くだもの」が入れ替え絵本の候補にあがったが、この画質を超える絵本がないことと、1 ページの背景にシンプルに果物が描かれていることが乳児にとって良いとの意見から「くだもの」を残すに至った。
- (委 員) 「くだもの」は子どもが大好きな絵本。2 歳 3 歳児くらいまで読み聞かせできる絵本である。
- (委 員 長) では、変えるとしたら「もうおきるかな」の方向で進めたいと思う。

『新しく配付する絵本について』

- (委 員 長) 推薦絵本として「そらめくんのこしょこしょこしょ」「おべんとうバス」「のりものの一せてのせて」「こねこがにゃあ」の 4 冊であるが、それぞれ推薦者から絵本について紹介いただきたい。
- (委 員) 「のりものの一せてのせて」は前任者から乗り物の絵本がなかなかないと伺い、乗り物の本を探し出会った本。赤ちゃん絵本でおなじみの三浦太郎氏の絵本であることと、リストに載っている絵本は全て電車の絵本であるため、より身近な車の絵本はどうかと思い推薦した。
- (委 員) 「おべんとうバス」はロングセラーの絵本であり、とても丈夫なため、長年大切にされる絵本である。学生もこの「おべんとうバス」を読んだ記憶を思い出し、絵本をモチーフに音のなるおもちゃやエプロンシアターを製作していた。このおひざで絵本事業の名前にもあるとおり、子供をお膝にのせて、親子で返事をしながら楽しみ、次世代にも伝えていきたい絵本という思いで推薦した。
- (委 員) 「そらめくんのこしょこしょこしょ」はそらめくんシリーズで赤ちゃん絵本が新しく加わった。有名なそらめくんシリーズという事もあり、こしょこしょこしょでくすぐり遊びが好きな年代の子たちと楽しく遊べることや、シリーズでつながっているため、成長に合わせて次のステップに読書で上がっていくこともできると思い推薦した。
- (委 員) 「こねこがにゃあ」は読み手によって印象が変わる絵本である。子供たちに囲まれてこの本を保護者が読んでいる姿を見た時、ほのぼのとして素敵だと感じた。猫や本の中に出てくる紙袋などもとても身近なものが多いところも良いと思った。心の通い合う温かさがある絵本だと思い推薦した。
- (委 員) 推薦絵本を提出していない二人はどのように思ったか。

- (委 員) 推薦絵本もどれも素敵な絵本ばかりであったが、変えないといけないという決まりがないのであれば、このままの配付絵本を変えなくても良いのではないか。
- (委 員) 「もうおきるかな」はリアルで細かいタッチが素晴らしい絵本であるが、保護者の方は選ばないのではないかと思う。「こねこがにやあ」は一歳児クラスに入ったとき、園児に何度も読み聞かせをせがまれる、とても人気の絵本であった。しかし、これを健康教室に置いて保護者の方は手に取るのだろうかと感じた。読み聞かせで出会う本であると思う。
- (委 員) 今までのお話で、今のお母さんたちは新しい本を手に入れたがる傾向があると伺った。そらまめくんシリーズは、多くの方が知っており、かつ昨年度出版されたという事もあり、絵本でスキンシップも楽しめるため、配付絵本に追加するのがいいのではないか。
- (委 員 長) 乳児の絵本は言葉とスキンシップが加わっていくものだと思う。そのような観点から考えても良い選択ではないかと思う。いままでの話をまとめると「もうおきるかな」と入れ替えて「そらまめくんのこしょこしょこしょ」を新しく配付絵本に追加するという事でよろしいか。

(一同同意)

(3) その他 (お薦め絵本リストの作成について)

～事務局より説明～

- (委 員) お薦め絵本リストに、お出かけサイズの絵本が出ていることを紹介してほしい。このサイズであれば気軽に絵本と一緒におでかけができる。サイズが違うという事はネットでは実感できないため、小さいサイズの絵本も販売されていることを知らない方も多いと思う。ぜひ紹介いただきたい。

『7～8カ月健康教室での読み聞かせについて』

- (委 員) 予定の時刻より早めに終了したため、ボランティアの読み聞かせの件で意見がある。やはり読み聞かせをすることで保護者の方の選定の基準になると考える。また、小学校の読書離れの発端を探ると小さい頃のどれだけ家庭で本を親しむ環境にあったかが重要である。読み聞かせの方法は検討が必要かと思うが読み聞かせを復活させていただきたい。例えば、先ほど読み聞かせの動画の話があったが、繋ぎの間だけでも動画で紹介するのも1つだと思う。
- (委 員) 大学の保育教材でも、保育の現場で動画を教材として流すが、学生たちは感じるものがあるようである。動画を流し絵本を紹介することは繋ぎとして良いアイデアだと考える。

(委 員) 絵本を読んでもらって育ったお母さんと、そういう環境になかったお母さんで二極化が激しい。私たちが読み聞かせをすると、興味のあるお母さんはじっと聞いてくれ、お子さんも落ち着いて読み聞かせを聞いてくれる。反対にお母さんも興味がないと、お子さんも落ち着きがなくなる。

絵本に興味のない方は自分から読み聞かせの場に行かない。しかし7～8カ月健康教室には否が応でも来てくれる。興味のない方も読み聞かせと通じ、読み聞かせの素晴らしさを知ってもらえる良い機会になると考える。

(委 員 長) 絵本配付の際、読み聞かせをして欲しいのは分かるが、今まで読み聞かせをしていたボランティア団体が続けるのは難しいという事で、新たな方法を検討しないといけない。時間もあるため、いろいろな情報知識をお持ちの委員の皆さんに何か方法があれば、アイディアを出していただきたい。

(委 員) 図書館で行われているボランティア養成講座でおひざで絵本事業の読み聞かせをしていただけないか講座終了後に案内するのはどうか。

(事 務 局) 講座後に読み聞かせをしている人の方が少ないのが現状である。読み聞かせをやってみたいから来たけれども、どこで読み聞かせをしていて、どこの団体に、声を掛けしていいのかわからない方が多い。

団体によっては熱心に育成講座を開催したりとかしている所もあるが、地域に根付いていることが多く、他の地域に行かないことが多い。年齢層が高いため、車移動が困難な方もいる。

(委 員) 地域でおこなうのはどうか、絵本の配付会場である8か所の保健センター付近の地域で登録制の仕組みを作り、読み聞かせができればよいのではないか。

(事 務 局) 図書館での読み聞かせボランティアも講座終了後に案内するが、登録までいかない。個人で来ている方をグループに発展させるのは難しく、図書館でも数個グループができたところで他へ案内は出来ない状態である。

(委 員) 例えば、各地域の大学や、民間のボランティアの読み聞かせを行っている方を管理する組織体制を作り、読み聞かせへの参加をお願いする。参加が難しい時には動画を流してつなぐなど、過重な負担なくそれぞれできる範囲でやっていけば、互いに高め合うことができるのではないかと思う。

本学も短期大学ではあるが、一般の短期大学よりもカリキュラムが緩やかであり、参加は可能かと思う。

(委 員) ボランティア団体の組織としても、分離が必要というのは感じている。読み聞かせ団体の別に小学校の方でも読み聞かせを行っているが、子供がその学校にいる方の保護者の、ボランティアのため、自動的に卒業すると抜けていくため人数が増えない。多分どこの、ボランティアも現状は同じかと思う。

そのため、ボランティアだけに頼るのは、難しいと思うので、ボランティア以外にも小学校の先生を引退された方とか、保育士を引退された方とか、子育てを終えられた方などにお声掛けをするなど、保健センターを軸にして 8 ヶ所の地域で読み聞かせボランティアをしたことがない方たちも養成していき、地域で子供見ていくという環境を作るのが大事だと思う。

かつて、読み聞かせボランティアの質がどうかという話もあったようなので、研修や学習会を行い、どの施設でも、平等なサービスが受けられる状況を作らないといけなく考える。

(委 員) 読み聞かせボランティアをやりたい方は意外にいるのではないかと思います。当園も働いている方が多いが、母さんたちが子供に読み聞かせをする、親子読書クラブでは、生き生きと読み聞かせをしている。潜在的に読み聞かせしたいと考えている方はいるはずである。話にあったように地域でも声をかけると、読み聞かせしてみたい方は出てくるのではないかと思います。

(委 員) 7～8 カ月健康教室は 8 ヶ所で、月に 1 回か 2 回だと思うので、上手く分担できれば回っていくと考える。

(委 員) 組織作りを今から行うのは 11 月からの実施は難しいと考える。そのため、図書館に協力いただき、動画撮影をして動画を見せるだけでも、雰囲気は伝わると思う。読み聞かせ動画の製作は可能であるか。

(委 員 長) 今まで独立したボランティア団体が全部おこなってきたため、これまで読み聞かせについて市役所側が何かをしていたわけではない。読み聞かせ動画ができたところで、誰がその場所に行って動画を流し説明をするのかというマンパワーが必要になる。

まず、読み聞かせのシステムについてどこの部署がすすめていくのか、というところから進めていかないと難しい。現段階ではこのような意見があるというところで止めておかないと難しいように思う。

また、動画に関しては、その絵本の著作権も絡んでくるため、確認が必要であるように思う。

(委 員) 動画の著作権については非営利目的のため許可を取るのは取りやすいはずではある。

(委 員 長) 様々な意見があるが、基本は、読んで聞かせて絵本を見るという事がセットであると考え。そのため復活して欲しい思いはあるが色々難しい。

ブックスタート事業のはじまる前から読み聞かせボランティアが読み聞かせをおこなっていたところに乗っかって本を配っていたということであるが、そこから読み聞かせがすっぽり抜けたところなので、今度どうするかを、皆さんからいただいたご意見を参考に、市役所の方で、関係課とご協議し検討いただきたい。それでは、以上をもって協議事項を終了とする。